

## 北海道大学が日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域) に採択

～実績が評価されサブサハラ地域で継続採択, ロシア・CIS 地域と 2 地域で事業展開～

### 【概要】

北海道大学(以下、「北大」)は、「平成 31 年度日本留学海外拠点連携推進事業(サブサハラ・アフリカ地域)」に、平成 31 年 3 月 11 日(月)採択されました。本事業は「留学コーディネーター配置事業」として平成 26 年度に開始され、平成 30 年度までの 5 年間の事業として北海道大学がサブサハラ地域での事業を受託して実施してきたもので、同地域における平成 31 年度からの事業について今回新たに公募が行われたものです。なお、北大は平成 30 年 10 月 1 日(月)にロシア・CIS 地域における同事業(平成 30 年度～最大 5 年間)にも採択されており、今回の採択により本事業において 2 地域で引き続き事業を展開することになります。

### 日本留学海外拠点連携推進事業(旧 留学コーディネーター配置事業)について

社会や経済のグローバル化が進展し、世界的な留学生獲得競争が激化する中、平成 25 年 6 月に閣議決定された「日本再興戦略」において、2020 年までに「留学生 30 万人計画」の実現を目指すことが明記されています。また、平成 25 年 12 月に策定された「世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略(報告書)」において、我が国の発展に特に寄与すると考えられる重点地域等が示されています。

文部科学省では、これに基づき、様々な機関の垣根を越え、オールジャパンで日本留学を促進するための司令塔となる留学コーディネーターを重点地域に配置する「留学コーディネーター配置事業」を、平成 26 年度から実施しています。

このほど、当該事業をさらに発展させ、①東南アジア(ASEAN)、②南西アジア、③アフリカ(サブサハラ)の 3 地域に日本留学海外拠点(以下、「海外拠点」)及び日本留学海外サテライト拠点(以下、「サテライト拠点」)を設置し、リクルーティング機能から帰国後のフォローアップまで、一貫したオールジャパンでの日本留学サポートを実現する「日本留学海外拠点連携推進事業」(実施期間は最大 5 年間、1 件あたり 1 年 80,005 千円を上限)の公募が行われました。

なお、同事業は平成 27 年度から南米地域、平成 30 年度からロシア・CIS 地域、中東・北アフリカ地域でも実施されています。

### 【申請内容】

北大は、サブサハラ・アフリカ地域において平成 26 年度から平成 30 年度まで日本留学海外拠点連携推進事業を展開し、アフリカから日本の高等教育機関への留学生数を事業開始前と比べ倍増させました。今回の申請では、これまでと同様に北大アフリカサカオフィスを海外拠点とするとともに、サテライト拠点を日本学術振興会(JSPS)ナイロビ研究連絡センター内に設置し、これまでの活動に基づく経験と JAAN(日本・アフリカ大学連携ネットワーク)をはじめとする大学及び関連機関とのネットワーク

を活かし、日本留学促進に係る活動を量的・質的に発展させます。これにより、事業期間内にサブサハラ・アフリカ地域から日本の高等教育機関への留学生数を平成 30 年と比べ 1.5 倍の 2,600 人に増加させることを目指します。

本事業における活動は、大きく以下の 5 つから構成されます。

#### ①日本留学に関する情報の効果的な発信方法の開拓

これまでの実績やデータに基づき戦略的な形で情報発信を行うとともに、サブサハラ・アフリカ地域の大学や在外公館等と連携し、日本の大学等が参加する留学フェアや留学コーディネーターが中心となる留学相談会を開催します。

#### ②地域の特性に合わせたリクルーティング活動

教育・経済・社会状況等を勘案して選出した 14 か国の重点国を中心に、高校・大学への訪問のほか、日本語教育機関との連携、JSPS と連携した学術交流基盤形成等により、中長期的視点に立った日本留学への関心の醸成を行います。

#### ③日本国内向け広報活動、留学生受入環境の支援・体制整備

卒業、修了後のキャリアパスを見据えた留学サポートを行うほか、JAAN や日本側受入大学とのネットワークを活かし、情報交換や留学生の受入れ支援を行います。

#### ④帰国留学生のネットワーク構築とキャリアパス形成支援

企業等とも連携した留学イベントの実施、物産品展示会等のビジネスイベントにおける留学後・卒業後の就職先の開拓等を行い、日本留学から卒業・修了後の社会への受入れまでを見据えて支援します。

#### ⑤日本本部との情報共有及び事業活動の最適化

日本学生支援機構（JASSO）が受託している日本留学海外拠点連携推進事業日本本部と、日本留学の基本情報や現地の状況を共有し、事業活動の最適化を行います。

上記の活動実施にあたっては、本事業がオールジャパンで日本への留学を促進するものであることから、北大が既に留学生数増加に向け活動しているロシア・CIS 地域をはじめ、他地域の海外拠点及びサテライト拠点のほか、日本国内外の大学等の機関とも連携を図ります。

### 【期待される成果】

本事業により、サブサハラ・アフリカ地域から日本の高等教育機関への留学生数を事業期間内に 2,600 人に増加させることを目指します。また、中長期的には「留学経験者を通じた新たな留学生の獲得」及び「日本との懸け橋となる人材の育成」という好循環を生み出し、ひいては、サブサハラ・アフリカ地域の学術振興等を促す効果が期待されます。

#### お問い合わせ先

北海道大学国際部国際連携課

T E L 011-706-4411 F A X 011-706-4414 メール collabo@oia.hokudai.ac.jp

#### 配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

# 事業のねらい

## これまでのサブサハラ・アフリカ地域との関係

平成26～30年度 日本留学海外拠点連携推進事業（留学コーディネーター配置事業）を展開



■ 重点国

### アフリカからの留学生数を倍増

#### 本事業の発展的展開

- サテライト拠点の設置により活動範囲を量的・質的に拡大
- 14の重点国を設定し活動の重点化
- 留学後の就職など留学後を見据えた総合的な留学情報の発信
- 本邦受入側大学のプログラム拡大、増加など

#### 国内外の多様なネットワークの活用

- JAAN
- 在外公館
- 本邦関連機関
- 協定校
- 連携校
- 日本語教育機関
- 卒業生など

多様なスキームを活用して、  
サブサハラ・アフリカ地域からの留学生数を1.5倍に増加させる

## 本申請における取組の概要

### 1. 日本留学に関する情報の効果的な発信方法の開拓

- これまでの実績やデータに基づく留学イベント等の戦略的な広報活動
- SNSやWebページをより活用し、日本留学の魅力をより効果的に伝える情報発信
- 留学だけでなく留学・卒業後のキャリアパスまで踏まえた形での学生目線の情報発信

### 2. 地域の特性に合わせたリクルーティング活動

- 重点国（教育・経済・社会状況などを勘案して選出した14か国）での積極的なリクルーティング活動
- 有力な高校での大学進学前の生徒への留学情報の広報、拠点大学への継続的な訪問
- 現地の日本語教育機関との連携等による日本語教育の活用
- JSPSと連携した学術交流基盤形成など中長期的視点に立った日本留学への関心の醸成

### 3. 日本国内向け広報活動、留学生受入環境の支援・体制整備

- 「卒業・修了後のキャリアパス」までを見据えた留学サポート
- JAANの活用、日本側受入大学との綿密な情報交換、渡日前入試・申請手続きへの支援

### 4. 帰国留学生のネットワーク構築とキャリアパス形成支援

- 在外公館、国際協力機構などと協力して帰国留学生ネットワークの構築と活用
- JSPS、日本貿易振興会、現地日本企業などとの緊密な連携
- 協定校、連携機関、現地政府・高等教育機関などの国内外の多様なネットワーク形成

### 5. 日本本部との情報共有および事業活動の最適化

- 日本留学に関する基本情報の発信
- 現地ニーズの情報解析、事業展開への活用